

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会
第 13 回式典・会場専門委員会 議事録 (概要)

1 日時

令和 6 年(2024 年)11 月 13 日 (水) 14:00~16:00

2 場所

平和堂 HAT0 スタジアム 会議室 4, 5 (彦根市松原町 3028)

3 出欠状況 (五十音順、敬称略)

委員 19 名中 15 名出席

出席: 石田 康之、白井 正士、片山 彰一、小林 昌彦、坂梨 利隆、笹山 衣理、左谷 光夫、
清水 義文、辻 保徳、中川 章子、中島 誠一、中嶋 義基、伏見 強、村田 和彦、
米田 正博

欠席: 大橋 奈希左、兼房 一浩、畑 稔彦、山本 順
(事務局: 辻事務局長、他事務局職員 13 名)

4 配付資料

別添のとおり

5 会議概要

報告事項 事務局から、SAGA2024 視察結果報告について説明。

【質疑・意見】

<事務局>

- ・天候について補足すると、国スポ総合開会式では小雨が断続的に降り、ブルーインパルスの飛行は、雲が低く中止された。一方、障スポ開会式では、開始から雨が降り続け、選手入場後に雨が止んだ。
- ・また、障スポにおいては、選手入場のために白いアーマーデッキが敷かれたが、段差や雨の影響等で車椅子が転倒する事例があり、選手団が安全に入場できるよう再考が必要と認識している。

<委員>

- ・私は障スポの滋賀県選手団として開閉会式に参加したが、入場については、従来の整列しての行進ではなく、自由な形で入場できたため、非常に良かったと感じた。
- ・また、芝生の上を車椅子が走りやすいように養生をされていたが、雨が降っていたこともあり、安全性において難しいという面もあった。
- ・閉会式については、滋賀県選手団が一同となって座ることができた点が良かった。
- ・また、今回はアリーナで行われたということで、入場に時間はかかったが、天候や寒さを気にすることなく、演出やアナウンスもクリアに聞こえて良かった。

<委員>

- ・私は国スポに参加し、スタンドから式典を見たが、参加した選手や役員からは、行進距離が短く、都道府県応援団の応援が十分に届かなかつたのではないかとの声があった。
- ・しかし、パフォーマーが選手団の近くで演技していたので、選手との距離感が近く良かったと思う。
- ・また、来場者全員にブルーの T シャツが配られ、スタンドがブルー一色に染まり、一体感が生まれた

点もよかったと思う。

<委員>

- ・佐賀県の「歓迎パフォーマンス」は、滋賀県の「おもてなし演技」に該当するのか。
- ・また、パフォーマンスの中に佐賀らしさは表現されていたか。

<事務局>

- ・佐賀県の「歓迎パフォーマンス」は滋賀県の「おもてなし演技」に該当する。
- ・佐賀らしさとしては、会場を盛り上げ「スポーツの大会が始まるぞ」という雰囲気を作ることで表現されていた。

<委員>

- ・佐賀の地域性は表現されていたか。

<事務局>

- ・佐賀は「新しさ」を重視し、佐賀の地域文化や伝統芸能の発表はほとんどなかった。

審議事項（１）事務局から、式典音楽隊の服飾デザイン案について説明。

→原案どおり承認。

※式典・会場専門委員会会議公開方針第２条第２項（１）に基づき、非公開で審議。

審議事項（２）事務局から、おもてなし演技 演技計画案・出演団体案について説明。

→原案どおり承認。

※式典・会場専門委員会会議公開方針第２条第２項（１）に基づき、非公開で審議。

審議事項（３）事務局から、研修会・練習会案について説明。

→原案どおり承認。

※式典・会場専門委員会会議公開方針第２条第２項（１）に基づき、非公開で審議。

審議事項（４）事務局から、登壇者・出演者・式典スタッフ計画案について説明。

→原案どおり承認。

※式典・会場専門委員会会議公開方針第２条第２項（１）に基づき、非公開で審議。

その他事項 事務局から、わた SHIGA 輝く国スポ総合開会式・総合閉会式の概要について説明。

※式典・会場専門委員会会議公開方針第２条第２項（１）に基づき、非公開で審議。

6 閉会

7 平和堂 HATO スタジアム施設見学

以上